

重要

木曽クリーンセンターだより

木曽町福島 7720 Tel.(0264)24-3131

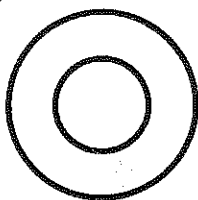
木曽広域連合
木曽クリーンセンター
平成28年10月号

生ごみのリサイクル・分別回収にご協力ください

最近、生ごみのリサイクルに関する問合せが多くなっています。特に夏場は、生ごみの水分が十分に切られていないことによるトラブルも発生しています。

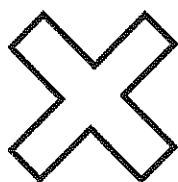
また、問合せが多い水切りネットについては、生分解できる物も販売されてはいますが、収集の際に生分解できる水切りネットかどうかの判断が出来ないため、木曽では水切りネットを生ごみ指定袋に入れてはいけない物として扱うようにお願いします。

生ごみリサイクルも皆様のご協力により、順調に進んでいます。生ごみの出し方を再度ご確認ください、引き続きリサイクルにご協力ください。



◎生ごみ指定袋に入れて良いもの…生ごみ…◎

- ・野菜・果実などの調理くず、残飯・食べ残し
- ・肉、魚類の骨、貝・カニ・エビ・卵の殻 など



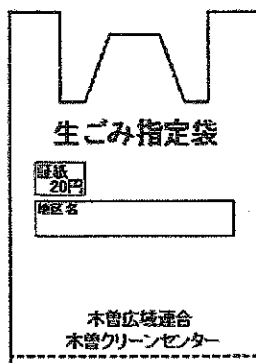
✖生ごみ指定袋に入れてはいけないもの…生ごみ以外のもの…✖

- ×割り箸、皿、コップなどの食器、水切りネット
- ×ラップ、アルミホイル。チューブ、ビニールのかげらなど
- ×新聞、菓子袋、ペットボトル、おむつ、タバコの吸い殻など



「生ごみ指定袋」の取り扱い注意点

生ごみ指定袋は、時間がたてば生分解する、環境に優しい「生分解性プラスチック」でできています。このため、普通の袋のように保管すると、すぐにボロボロになってしまいます。



涼しい場所（推奨条件 0℃～30℃、湿度 60%以下）で保管する。

- ・冷蔵庫で保管すると長持ちします。

生ごみを入れてから、長時間放置しない。

- ・指定袋に生ごみを入れると分解が始まります。
- 生ごみは水切り容器などにためて、十分に水分を落としてから、できるだけ収集に出す直前に指定袋に移すようにしてください。

なるべく買い置きをしない。

- ・一度にたくさん買わないでください。
- 上手に保管しても、生ごみ指定袋は1年位で劣化してしまいます。（指定袋の外袋に製造年月が記載されています）

ご質問ご相談は、町村役場又はクリーンセンターへお問い合わせください。

注意) 水切りネットの取り扱いについて、ご理解とご協力をお願いします。

注意) 生ごみの分別回収は対象外の地区・地域があります。町村の分別区分に従ってください。

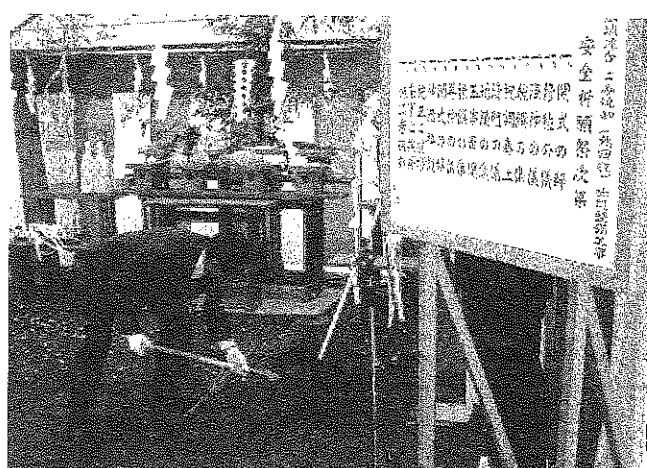
裏面もご覧ください

木曽クリーンセンターだより

木曽町福島 7720 TEL(0264)24-3131

木曽広域連合
木曽クリーンセンター
平成 28 年 10 月号

「木曽広域連合 ごみ焼却(熱回収)施設整備工事」安全祈願祭を行いました
現場での本格的な工事着手に先立ち、9月16日(金)に施工業者主催による安全祈願祭が執り行われました。当日は秋空の下、後藤茂之衆議院議員、村上淳長野県議会議員、増田隆志木曽地方事務所長をはじめ、施工者のエスエヌ環境テクノロジー株式会社、地元関係者など総勢40名に出席していただき、施工監理者による「刈初めの儀」、施主である木曽広域連合長による「鍬入れの儀」、施工者による「鋤入れの儀」などの神事を行い工事の安全を祈願しました。



施主あいさつ
原 木曽広域連合長



来賓あいさつ
後藤 衆議院議員



来賓あいさつ
(長野県知事代理)
増田 木曽地方事務所長



来賓あいさつ
村上 長野県議会議員



主催者あいさつ
E&E環境テクノロジー(株)
下田 代表取締役社長

4月から行っていた旧木曽町営プールの解体工事が完了し、これから本格的に現場での建設工事が始まります。完成の予定は平成30年3月末、新しい施設の稼働は4月からとなります。

大型の工事車両が通行するようになり、地元の皆さま、近隣の皆さま、現在のごみ処理施設へごみを搬入している皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

施工業者、現場代理人の紹介コーナー

施工者：エスエヌ環境テクノロジー株式会社
現場代理人・監理技術者：田辺 貴之
連絡先：06-4804-5507
(本社・大阪)

「皆さまに喜ばれる施設の
建設に努めます」



木曽広域連合ホームページでカラー版をご覧ください。http://www.kisoji.com/kisokoiki/
今後も進捗状況を「木曽クリーンセンターだより」でお知らせします。

裏面もご覧ください